

# ほ ど 教育センター通信

## 火床の火の心を紡ぐ

第11号（通算72号）  
令和2年3月17日  
三条市小中一貫教育推進課  
教育センター 発行

大崎学園 ～6・7年生合同英語授業～ 7年生が、後期課程の様子について、6年生が理解できる英語を使って紹介しました。



2月18日（火）

### 「勇志塾」で感じた小中一貫教育の「成果」

小中一貫教育推進課 指導主事 桐生 太

2月14日（金）～15日（土）、中小企業大学校三条校にて、今年度で8回目となる三条市中学生リーダー研修会「勇志塾」を実施しました。市内9か校から新生徒会役員となった2年生・8年生が4名ずつ参加し、國定三条市長の基調講演をはじめとする5つの講座を2日間に渡って受講しました。生徒たちは、どの講座にも意欲的に参加するとともに、宿泊を通して学校を越えた仲間同士の交流を活発に行っていました。

印象的だった一場面を紹介します。2日目の最初の講座開始は8時30分でしたが、会場を覗くと20分以上も前に受講者全員が着席して待っていました。この講座は各自が希望選択するものであり、各校数名ずつ計21名の参加でした。開始までに時間があつたため、「しばらく休憩していて構いません」と伝えた後、しばらくして、その会場の前を通ると、何やら賑やかな声が聞こえます。中を覗いてみると、全員の椅子を部屋いっぱい丸く並べ、一人一人の「自己紹介タイム」が行われていました。「〇〇学校の〇〇です！よろしくお願いします！」と一人が話すたびに、全員が盛大に拍手をしています。職員の指導などは全くなく、誰が音頭をとったのかも分かりません。前日の夕方に初めて会ったばかりのメンバーだということに、生徒たちの自主性や協調性、コミュニケーション能力の凄さに感心させられました。その様子を見ていた講師の先生が、「素敵な生徒さんですね」とにっこり微笑み、講座を5分前倒しで始めてくださいました。

「どうやったらこのような子どもたちが育つのだろうか」そんな思いが止まらない「勇志塾」でした。その答えは、実は私たちの日常にあるのではないかと感じました。三条市の小中一貫教育では、「未来を拓き、力強く生きるための『確かな学力』『豊かな心・個性』『健やかな身体』」をもった三条っ子の育成を目指しています。今回の「勇志塾」で見られたような「人間関係形成力」や「社会性」を身に付けた生徒の姿こそが、小中一貫教育で育った子どもたちの姿なのではないでしょうか。それは、それぞれの学園がこれまで学校、家庭、地域で一体となって子どもたちを育ててきた小中一貫教育の「成果」とも言えると思います。この2日間は、生徒たちにとって充実した貴重な経験になったことと思います。各学校や保護者の皆様の御理解と御協力に感謝いたします。これからも小中一貫教育で育った子どもたちが、心豊かにたくましく、そして、ふるさと三条を愛し、誇りに思えるような人材に育ってほしいと願っています。

【勇志塾の講座内容については中のページを御覧ください。】

# 「職員室をアクティブにする研修づくり」研修を振り返って

2月19日(水)に南魚沼市学習指導センター指導主事 種村公夫様を講師にお招きして、研修を行いました。

## <研修のねらい>

日々の授業において主体的・対話的で深い学びを実現するための考え方や指導法を学ぶとともに、それを支える校内及び学園の研修づくりの具体的な視点を学ぶ。

## <演題>

### 職員室がアクティブになる学園づくりで学力向上を

主な内容は、校内及び学園の研修づくりで大切なことと学習指導法の秘策について、お話をいただきました。以下は、その概要の一部です。

## <研修づくりについて>

- ❖ 職員研修の要は「データ」
  - ・画像等の記録から実際の様子や姿を捉える。
- ❖ 学力向上のポイント
  - ・教員の意識改革  
「させる教師」から「育てる教師」へ
  - ・教員の指導力向上  
毎時間の授業での「育て方」が勝負
  - ・教員の評価力向上  
「育てる教師」は「ほめ上手」  
よくできている姿を画像で示しほめる

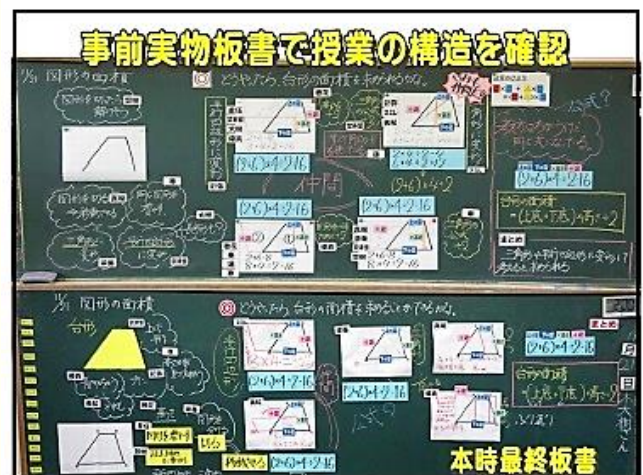


## 【参加者の声】

- ・「がんばった学びの引き継ぎ」は、目から鱗でした。
- ・本当に1つ1つの内容が濃い研修でした。1人の教員としてなんとなくおろそかにしていたような部分に、改めて向き合うことができた時間でした。
- ・次年度の研修体制づくりに向けて、今年度中に実践できるものを試し、提案していきたいと思えます。

## <学習指導法について>

- ❖ 「◎」成立の根拠(子どもの声)が可視化された板書をする。
- ❖ 挙手をして指名を受けたら聞き手全員が目が見える位置に立ち、聞き手の目を見て、そろったら話し始める。
- ❖ よい聞き手が話し手を育てる。(姿勢、目線、体の向き、うなずき、反応、拍手)
- ❖ 短時間でも毎時間ノートに書き続ける。(思考力・表現力が育成される。)
- ❖ 友達ノートを見て回る時間や友達に聞いて回る時間をつくる。(友達の考えを知ると考えたくなる。事前に相談すると話したくなる。)
- ❖ 目指す「深い学び(見えなかったことが見えるようになり、それを自覚すること)」を明確にする。(子どもの思考を対比し共通点と相違点を探るとよい。)
- ❖ 事前に板書を試し、授業の構造を確認して授業に臨む。実際の板書と比較し授業を振り返る(下図参照)。授業の構造を、子ども自身が学び方として理解することが大切。



(図は種村先生からの配付資料より抜粋)

## 授業力向上実践研修 (Step1, Step2 研修) がんばりました!!

三条市教育センター主催の研修講座「平成31年度授業力向上実践研修 (Step1・Step2 研修)」が終了しました。発行要件を満たして修了証を授与された受講生は、Step1 研修 30名、Step2 研修 12名の合計 42名でした。1年間のがんばりに拍手を送ります。

研修講座の終了は研修の節目ではありますが、教員の研修に終わりはありません。授業力向上実践研修で得られたことを今後の授業改善に生かすとともに、新たな課題の解決に向けて一步を踏み出してほしいと願っています。

4月に、「普段の授業を少しでも良くしたい。」という受講生の皆さんの思いからスタートした本研修講座でしたが、研修の終わりにあたって実施した「まとめのアンケート」に寄せられた感想からは、すべての受講生から研修の成果が感じられます。振り返りの一部を掲載しましたので御覧ください。

なお、受講生 42名の皆さんの研修成果は「平成31年度教育研究論文集・授業づくり実践集」として、全ての三条市立学校に配付しました。ぜひ目を通していただきたいと思います。

受講生の皆さん、1年間にわたる研修、本当にお疲れさまでした。がんばりました。



### 「まとめのアンケート」から一部抜粋

改めて、授業準備に時間をかけることの重要性和やりがいを感じることができました。多忙な毎日ではありますが、授業を第一にこれからも教師としての力量を高めていきたいと思えます。研修の場を提供していただき、御指導いただき、大変ありがとうございました。



学習会の時間設定が参加しやすく良かったです。回によっては6限まで授業を行っても研修に間に合うような時間設定で助かりました。

担当指導主事の方がとても丁寧に指導していただき、授業における悩みも親身になって聞いてくださいました。研究授業の準備など、大変な面もありましたが、得られるものが多くありました。

研修の様々なタイミングで個別に指導していただくことができ大変良かったです。1年間を通して、同じ指導主事の先生に指導していただけることはめったにないので、勉強になりました。また、安心して研修を進めることができました。

普段、研究授業で扱うことがなかった教科に挑戦しました。初めてのことでだけでしたが、「指導案を書く力」「単元構成を考える力」「子どもたちの意欲を引き出す題材や手法を工夫する力」など、様々な力がついたと感じています。

論文を書くことを意識して、第一に自分の授業のねらいを明確にしたことが良かったです。そのねらいを達成するために、教師としてどのような手立てを講じることが有効なのかを考えることができました。このことにより、指導案づくりがしやすかったです。

担当指導主事の先生に丁寧に指導していただいたことで、自分の苦手なところが見つかりました。私は、学習問題への焦点化や、教師の問い返し、終末におけるまとめを、よりいっそう意識して取り組んでいきたいです。



## 子どもの心はどこまでも温かい

嵐南小学校河野学級（4年生）道徳科の授業です。教材は「ブラッドレーの請求書（教育出版）」、家族愛がテーマです。話の概略は、以下のとおりです。

ある朝、ブラッドレーは、朝食のテーブルのお母さんの皿の横に1枚の紙を置く。そこには「お母さんへのせい求書 おつかいちゃん1ドル おそうじ代1ドル 音楽のけい古にいったごほうび1ドル おるす番代1ドル 合計4ドル」と書いてあった。それを見たお母さんは、にっこり笑って何も言わない。昼食時、お母さんは、ブラッドレーのお皿の横に4ドルを置く。お金を見たブラッドレーは大喜び。けれど、お金と一緒に小さな紙が置いてあり、そこに書かれていたものは「ブラッドレーへのせい求書 親切にしてあげた代0ドル 病気をしたときのかん病代0ドル 服や、くつや、おもちゃ代0ドル 食事代と部屋代0ドル 合計0ドル」 これを読んだブラッドレーの目は涙でいっぱい。お母さんのところへ走り言う。「お母さん、ごめんなさい。このお金は返します。これからは、せい求書なしで、お母さんのためになんでも手伝います。」

学習問題⑨は「ブラッドレーの目が涙でいっぱいになったのはなぜだろう？」です。グループの話合いで、Mさんが「自分のことがしょうもないと思ったのでは。」と言うと、Rさんが「どこがしょうもないの？」と問い返します。すると、Mさんは「お母さんにいっぱいしてもらっているのに、自分はしていないことに気付いて、自分自身がしょうもなくなって泣いたと思う。」と話し、自分の考えを確かなものにしていきました。

最後に振り返りを書きました。Mさんは、次のように記述します。

(前略)…これから家族のためにやりたいことは、できることは何でもやりたいと思います。せんたく、さらあらい、マッサージ、米とぎ、おふろそうじ、ごみだし、食器あらい



目を輝かせ、やりたいことを一つ一つ書き進めていく姿に「大好きな家族のために、お母さんのために」という思いが溢れています。その心はどこまでも温かく心打たれます。子どもたち一人一人の温かい気持ちが育くまれる学び、そんな学びが多く教室で生まれることを願っています。

## 令和元年度「勇志塾」 講座名と講師の紹介



### 基調講演

「三条市の未来を拓く君たちへ」 三条市長 國定勇人 様

### フォーラムディスカッション

「弁護士としての経験を踏まえ、リーダーとなるみなさんにお伝えしたいこと」  
新潟県弁護士会 中澤泰二郎 様

### 心と体のケアトレーニング研修

「心」 … セルフアドヴァンス協会 代表理事 水科江利子 様  
「体」 … NSCA 認定パーソナルトレーナー 高野 聖 様

### ワークショップ研修

「三条市を背負って立つ人材に」	済生会三条病院 院長	郷 秀人 様
「私たちが暮らしている地球のゴミ問題」	永塚製作所 社長	能勢直征 様
「カッコ悪くない農業を目指して」	内山農園 代表	内山徳寿 様
「国際理解と国際交流、多文化共生」	三条市国際交流員	ション・ワン 様

### 講話

「『ものづくり』の楽しさとは」 (株)青芳 取締役専務 秋元幸平 様

<お知らせ> 「三条市授業スタンダード」を冊子にまとめました。お手数でも、各学校で、校務用全校共通フォルダ内の資料を印刷し、教職員に配付願います。また、お読みいただき、次年度からの授業実践、研修に御活用ください。

保存先：校務用全校共有フォルダ > 02\_教育センター > 三条市授業スタンダード